

水の恵みカード一覧

江南地区のネギ

江南地区のネギ

●ポイント情報●
『越津ネギ』は江南市、一宮市を中心に栽培されており、あいちの伝統野菜に選定されている野菜です。

水の恵み施設

江南地区の水利用施設

維摩池地区のイチジク

維摩池地区のイチジク

●ポイント情報●
愛知県イチジクは、全国一の産地となっており、尾張旭市では、イチジクを特産品として学校給食等にも提供しています。

水の恵み施設

維摩池地区の水利用施設

舞木乙部地区のナシ

舞木乙部地区のナシ

●ポイント情報●
愛知県のナシの栽培は明治初期に始まり、豊田市などで栽培され、あいちが誇る果実の1つとなっています。

水の恵み施設

舞木乙部地区の水利用施設

『越津ネギ』は江南市、一宮市を中心に栽培されており、あいちの伝統野菜に選定されている野菜です。

愛知県のイチジクは、全国一の産地となっており、尾張旭市では、イチジクを特産品として学校給食等にも提供しています。

愛知県のナシの栽培は明治初期に始まり、豊田市などで栽培され、あいちが誇る果実の1つとなっています。

愛西北部地区のレンコン

愛西北部地区のレンコン

●ポイント情報●
愛西市は、レンコンの全国三大産地の1つとして数えられ、年間を通して出荷されています。

水の恵み施設

愛西北部地区の水利用施設

愛西市は、レンコンの全国三大産地の1つとして数えられ、年間を通して出荷されています。

明治用水地区のイチジク

明治用水地区のイチジク

●ポイント情報●
安城市、碧南市で栽培されるイチジクは、『あいちの太陽』の愛称で親まれ、高い評価を得ています。

水の恵み施設

明治用水地区の水利用施設

安城市、碧南市で栽培されるイチジクは、『あいちの太陽』の愛称で親まれ、高い評価を得ています。

高里第1地区のハウレンソウ

高里第1地区のハウレンソウ

●ポイント情報●
新城市作手地域は、産地特有の寒暖差を活かした高原野菜である『奥三河ほうれん草』のブランド化を進めています。

水の恵み施設

高里第1地区の水利用施設

新城市作手地域は、産地特有の寒暖差を活かした高原野菜である『奥三河ほうれん草』のブランド化を進めています。

東浦支線地区のブドウ

東浦支線地区のブドウ

●ポイント情報●
大府市、東浦町では、昭和35年頃から盛んにブドウ栽培が行われており、現在では20種類以上が栽培されています。

水の恵み施設

東浦支線地区の水利用施設

大府市、東浦町では、昭和35年頃から盛んにブドウ栽培が行われており、現在では20種類以上が栽培されています。

吉良・幡豆地区のてん茶

吉良・幡豆地区のてん茶

●ポイント情報●
西尾市は、てん茶の生産が全国トップクラスであり、2009年には『西尾の抹茶』として特許庁の地域ブランドに認定されました。

水の恵み施設

吉良・幡豆地区の水利用施設

西尾市は、てん茶の生産が全国トップクラスであり、2009年には『西尾の抹茶』として特許庁の地域ブランドに認定されました。

豊川総合用水2期地区の電照菊

豊川総合用水2期地区の電照菊

●ポイント情報●
電照菊の栽培は、昭和40年代から行われており、現在では全国的に知られるようになっています。

水の恵み施設

豊川総合用水2期地区の水利用施設

愛知県は、田原市を始め菊の出荷量が全国1位となっており、昭和40年代から電照菊の栽培が行われています。

吉良・幡豆地区のてん茶

豊川総合用水2期地区の電照菊

